

放課後を支える

放課後の活動を見守りたい

南小キッズランド「放課後異年齢教室」

児童が通い慣れた学校施設などを活用し、遊びや学びの場を提供する「放課後異年齢児交流促進事業」は、今年度から、市内の全小学校で通年実施しています。

インタビュー 南小キッズランド

南小キッズランドでは、放課後の子どもたちに楽しんでもらえるように、堀江公民館と連携し、工作教室や体操教室を実施しています。さまざまな企画は、南小キッズランドで遊ぶ子どもたちの様子を見て決めています。

入学式の時期になると、南小学校の卒業生が中学や高校の制服姿で遊びに来てくれます。地域の子どもたちの成長を見守ることは、スタッフの何よりの喜びです。

今年度は放課後異年齢児交流促進事業を主体に土曜学習を実施し、各事業所で特色あるプログラムが展開されています。

南小 キッズランド「ダブルタッチ教室」



明海小 あけみあそびひろば「体操教室」

東小 ちあふるひろば「いけばな教室」

放課後の時間を楽しく

公民館講座「来てみて！遊ぼう！みはま缶」

美浜公民館では、放課後の子どもたちの学びの場として「みはま缶」を開催しています。市民サークルや地域ボランティアの方が講師となり、参加した子どもたちは、料理や工作に取り組んでいます。

インタビュー 横山 小夜子さん

心ゆくまで楽しいと感じる「体験」と「環境」を大人の責任で子どもに提供したいという思いから、活動を続けています。

活動の中でたくさんのお子さんと出会いましたが、たくましく成長する姿を見て私が元気をもらいました。

インタビュー 清水 久子さん

ボランティアとして子どもたちと関わるようになって3年目となります。

公民館以外の場所で、子どもたちや保護者の方から声をかけてもらえる機会も増えました。ボランティア活動を通して、「人」と「人」のつながりのあたたかさを感じています。



安全を支える

これからの時代を担う子どもたちのために

浦安市青少年補導員



インタビュー 連絡協議会会長 富山 勝夫さん



青少年補導員として長年、子どもたちと接してきました。地域の姿は時代とともに変化してきましたが、子どもたちは今も昔も変わりません。

地域の大人が子どもの手本となる行動をしていれば、子どもたちは身近にいる大人を自然と見習うものです。その反面、大人が間違った行動をしていれば、子どもたちにも影響を与えてしまいます。

大切なのは家庭・学校・地域の大人。地域の宝である子どもたちに愛情をもって声をかけ、見守っていくことだと思います。これからも青少年補導員の仲間と共に、活動に取り組んでいきます。

子どもたちの安全と成長を見守る

インタビュー 市原 利昭さん



6年間、交通安全推進隊として活動を続けています。毎朝、部活動に向かう子どもたちの登校時刻から見守りを開始。子どもたちや地域の方と交わすあいさつが元気の源です。

活動を続けることで、たくさんのお子さんの成長を見届けることができました。これからも、自分の足で歩ける間は、子どもたちと地域を見守り続けていきたいです。

交通安全推進隊



児童・生徒が浦安について学び、調べた成果を発表する

ふるさと浦安作品展

今年の「ふるさと浦安作品展」には市内の小・中学生から合計1903点の作品が寄せられました。子どもたちの目線で捉えた浦安の良さや課題、未来への提案はいずれもすばらしいものでした。

小学校の部で市長賞を受賞した美浜南小学校の川上百合佳(かわかみゆりか)さんは、「水防意識の高さNo.1のまち浦安を目指して」をテーマに、市内の堤防や旧江戸川の上流などを実際に見学した記録や、水害や水防の歴史を調べた結果と考察をまとめました。



平成28年度浦安市小・中学生実態調査

自分の住んでいる町や地域が好きだ

小学1～3年生	74.3%	14.3%	88.6%
小学4～6年生	68.6%	22.4%	91.0%
中学生	54.3%	35.2%	89.5%

地域の活動に参加している

小学1～3年生	48.1%	22.4%	70.5%
小学4～6年生	43.0%	27.7%	70.7%
中学生	32.4%	30.2%	62.6%

■ とてもそう思う ■ まあそう思う